



通信  
第116号  
松柏

令和6年7月22日発行  
ときわ会刈羽・柏崎支部 代表 / 鈴木康幸



学校のお宝  発見 瑞穂中学校 お宝①「生徒(体育祭)」  
「お宝たる所以」は4ページをご覧ください



## 「ときわプライド」を胸に、希望の未来へ ～「自覚 発展 貢献」を重点に～

刈羽・柏崎支部長 鈴木 康幸 (561年度)

このたび、刈羽・柏崎支部長を拜命しました、61年度「無井の会」の鈴木康幸です。既に昨年度に選任を迎え、特例任用で日吉小学校に勤務しています。教職人生最後の最後に自分の生まれ育った刈羽・柏崎の学校に初めて勤めることができ感無量です。刈羽・柏崎の子どもたちのために、そして、刈羽・柏崎支部のために、精一杯、役目を務めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、我が「ときわ会」は創設151年目を迎えています。これまでの多くの先達の努力に「敬意と感謝」の思いを改めて心から表すとともに、志をしっかりと受け継いで、私たち一人一人が「ときわプライド」を胸に灯し、煌めき輝かせながら、子どもたちの希望の未来のために取り組み続けていきたいものです。

当支部は、この春の異動で昨年度より10名も会員が増え、総勢40名で活動をスタートしました。今年度の重点は、「自覚 発展 貢献」です。①刈羽・柏崎を支える人間としての自覚、②力量を高め合って発展する仲間、③学校・地域・組織への貢献をテーマに、活動を充実させていきます。また、当支部は少人数支部であることを強みととらえ、互いに顔の見える関係を築き、機動力を発揮してスピード感をもって対応していきます。さらに、会員一人一人の思いや願いを支部活動にダイレクトに反映して、会員のニーズに応じた研修や交流を進めていきます。「会員が主体性を発揮する研修の充実」「会員を支える組織の活性化」の2点を力強く推進していきたいと思ひます。会員の皆様のご理解・ご協力を、よろしくお願いいたします。